岩盤ボーリング柱状図

調査名	二級河川瀬野川水系　山王北川外　砂防工事に伴う全体計画書作成業務
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	No.H-1	調査位置	広島市安芸区中野東三丁目外	北緯	34° 24' 42.6833"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 9月29日～ 令和2年10月 1日	東経	132° 35' 57.7769"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	168.69m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D0 / エンジン：ヤンマーディーゼルNS110 / ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
	168.19	0.50		砂質土	暗褐								木の根混じる表土。	
1 2				粘土質砂	赤褐								1～2mmの石英、長石の砂の混じるや粘性を帯びた崖錐性の砂であり、緩い。	
3	165.79	2.90		花崗岩	淡褐	w4	h1	E	VI	d	D		強風化花崗岩で、マサ化進行し、φ25mm程度の角礫を混入する。	
4	164.69	4.00												
	163.89	4.80			灰褐	w3		D			D	23[23](100)	岩石組織を残す弱風化花崗岩で、ハンマー打撃で崩れやすい。	
5 6						w2		C	III	b	CM	60[85](100) 25[60](100)	GL-5.0～5.09m間亀裂の一部マサ状となるが、全体に硬質のコア主体である。 GL-6.7m付近、斜亀裂分布する。	10/1 6.50
7	161.69	7.00												
8 9 10 11 12														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15 / 1.45	5 / 300		
5	2.15 / 2.45	5 / 300		
17	3.15 / 3.45	17 / 300		
50以上	4.15 / 4.29	50 / 140	140	
50以上	5.00 / 5.07	50 / 70	70	

深度－N値図

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		8/30	100	86	シングル／メタル	1	100	0	W30	0
					ダブル／ダイヤ					
		10/1		66	ダブル／ダイヤ			0	W27	0